



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティスクールニュース 2010年2月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男(会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278

借校校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St

URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

＜校長からのメッセージ＞

やや暖かな日々が続いています。何よりも日が長くなり、まことにうれしいものです。皆さんも補習校に来るまでの日差しの中、車の中で何となくウキウキとした気分になっていることと思います。気温はまだまだ春には程遠いのですが、確実に冬も終わりを迎えているようです。早いもので今年度も残すところあとひと月となりました。生徒のみなさん、保護者の皆様、役員会の皆様、そして教師のみな、最後の三月も4回学校があります。張り切っていきましょう。

さて、12日と19日に授業参観が行われましたが、いかがでしたでしょうか。今年度は授業参観日を年に二回行うという試みをしました。その二回目、一回目と比べてお子様の成長が見られたでしょうか。普段のクラスの様子を少しだけ伺いすることができたのではないのでしょうか。とはいうものも、授業参観というのは不思議なもので保護者がたくさんクラスに入ってくると、子どもの様子が一変し、あまりにも静かになってしまうので教師も普段と勝手が違うクラスに少しと戻っているようです。保護者の皆様にとっては、いかがでしたでしょうか

今年度も終わりに近づいていますが、ほとんどの生徒のみなさんの来年度の予定は固まったことと思います。まだあやふやな方は担任とそして必要があれば、校長、副校長としっかり話し合ってお来年度の進級などの最終確認を行ってください。私自身は、副校長とともに来年度に向けての学級編成、担任決めに取り組んでいます。昨年も述べましたが、クラス編成は、それぞれの生徒にとってどのような環境が最適なのか、レベルはどうか、そしてそういった子ども達が一学級になったときどのような指導、もしくは教師が適任なのかといった教育的立場を第一に考慮してすすめております。それに加えまして限られた教室数、一クラス11人以上ではじめてもう一クラス作ることができるという規約などの物理的要素を加え、来年度の陣容が決まります。来年度は中学生が一年生と三年生の二クラス、そして年長組が二クラス、もしくは担任二人せいの一クラスになりそうで、今年度より生徒数、クラス数も増えることとなりそうです。クラス、担任発表は、来年度の最初の授業日になります。

先日の保護者研修会の時に、各クラスの教科書、宿題などがスタッフルームにて展示されていたのにお気づきになられたでしょうか。わが補習校では、ワークブックで教科書の復習または予習を、あかねこで漢字の勉強を、そしてその他作文、日記、絵日記などはプリ

ントでというように宿題が構成されています。その中で主となるワークブックは、宿題をしてきてもその見直し、訂正を全然しない生徒が多数いるという、やりっぱなしの宿題では意味がないのではという反省を元に導入をいたしました。このワークブックは、おうちで必ず答え合わせ・訂正を済ませて提出をすることを徹底してください。家で、保護者の方と間違いを確認してそして授業に望むことで意味のある授業をそして宿題を提供できるものと信じております。

三月は、一日体験入園・入学、弁論大会、修了式を予定しております。詳細は、別欄を参照してください。さあ一年の最後の三月です。修了式のときに、保護者の皆様、役員会の皆様、教師一同、そして主役である生徒のみなが「ああ、今年も良くがんばったなあ」と振り返ることのできるよう、充実した三月を送りましょう。

体験入学・体験入園のご案内

4月から子供さんの入学・入園をご希望の保護者の皆様へ

毎年、幼稚科年中、年長、小学1年の教室の様子を知ってもらうために、それぞれのクラスで、授業体験を実施しています。関心のある方は、子供さんとご一緒にご参加ください。学校のことをまだご存じない方もお誘いください。

日時：3月5日(金) 6:50～7:20 pm

場所：現在プレイスクールの方は年中クラス(002番教室)

年中は年長クラス(010番教室)

年長は一年生のクラス(012番教室)へおいでください。

校内弁論大会のご案内

今年は、六年生と中学二年生の生徒による校内弁論大会が行われます。生徒達は、冬休みの段階から原稿作りに取り組みこの日ために準備してまいりました。一人一人それぞれユニークな主張を発表します。ぜひ、たくさんの保護者の皆様に聞いていただきたいと思っております。また、高学年について知っていただく良い機会にもなりますので、低学年の保護者の方もお誘い合わせの上、ご出席ください。

日時：3月12日(金) 6:15～8:30 pm

場所：学校体育館

修了式のお知らせ

今年度の修了式は、3月26日（金）に体育館にて行われます。スケジュールは以下ようになっております。

7:30~8:30 修了式
8:30~8:45 各教室で修了証書の授与
校長 坂口 宗（はじめ）

<保護者便り>

こんにちは。早いもので通い始めて12年たちました。その間に学校の形態も我が子の意欲も変わり、なかなか面白いと思っています。ジャスミンとマーカスはブレスクールの一期生です。幼稚科、低学年の頃はそれは楽しく張り切って通っていたものでした。3年になりドドーンと大きな壁にぶち当たりたちまち学校大嫌い！と大変化。親はさらに追い討ちをかける如くその後は一学年を2年づつやらせました。ゆっくりペースではありますが、やっと息子は6年生、娘は5年生になりました。一つ言える事は親の怠慢が子供の日本語力低下につながると言う事です。1日24時間8時間睡眠として16時間あります。そのうちのたった5分子供と本を読む。たった30分宿題に付き合う。たった30、40分をめんどくさがった為どんどん低下しました。“もうそれくらいわかるでしょ”は親の逃げ。我が家の失敗談の一つでした。後悔先に立たず。

ジャクソン好子

日本語学校に長女圭央の手を引いて通い始めたのをつい最近のように思い出します。その圭央も今年は小学6年生。次女の綾乃は年長。自宅から片道30分かかるとの通学は辛いものがあり、実際昨年度は休学も致しましたが、親娘で何とかがんばっています。正直、日本語学校に通った分だけ残りのものが残るの分かりませんが、それでも“継続は力なり！”どうせ続けるなら楽しくこれからも通学できればと思います。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

滝田ひろみ

新聞が読めるようになるまで。”いやいや、“自分の好きな本が読めるようになるまで。”う～ん、“漫画が読めるようになるまで。”と、日本語習得の目標がだんだん下がってきたロペス家では、現在二人の娘が補習校で学んでいます。

長女、菜つみは6学年ですが、現地校では9年生。フェイスブック、ミュージック、ファッションなどが、どうも彼女の優先順位の上位を占めるようで、日本語学校の勉強はベスト10内に入っていないようです。ゲームをする時の真剣な目つきで宿題もやってくれるといいんですが... 次女、美づきは4年生。外では、おとなしそうに見えますが、ロペス家一番のおしゃべりさんです。今、ちょっと前の、日本のドラマにはまっていて、「のだめカンタービレ」「ごくせん」

に続き、今は「メイちゃんの執事」が、お気に入りです。

ロペス一美

It has been said, and I agree, that a language is a window to another world.

A new language is also like a large onion, made of several layers. As a layer is peeled back it reveals new riches of that world. Until all of it is exposed. Unfortunately, this does not come without pain and, of course, tears.

Our children take the acquisition of the Japanese language for granted far too easily. In their busy lives marked by many distractions they often fail to see the value of spending countless hours learning a language spoken mostly in a far away place.

The MEJCS hopes to change that in the coming years, if only in a small way, by introducing a MEJCS scholarship program. The scholarship will reward individuals who can demonstrate through an oral presentation an ardent desire to study some aspect of Japanese culture and/or language at a post-secondary institution.

Indeed, what better way to tell our children about the value of learning Japanese than to have them listen to individuals who, though not exposed to Japanese as youngsters, think that learning aspects of Japanese culture and language is the most wonderful thing in the world! [And I'm not mentioning about the benefits of a program that, through giving back to the larger community, might bring bigger grants from the city.

The MEJCS Scholarship Committee hasn't met for several months now, but will resume its deliberations once a manual describing how to run the scholarship program has been drafted. I am working on such a manual right now. I look forward to discussing the specifics of the program with MEJCS parents in the coming months, and see our scholarships pay many dividends to our school in the future.

Jocelyn Hudon

渡辺健太、6年、はな、2年。健太は、来年度から中学だ。よくがんばったね、健太も私も。健太もはなも、オーストラリアのメルボルンの生まれ。はな、8ヶ月、健太4歳の時にエドモントンに来た。健太は、メルボルンでは、生まれて6ヶ月でデイケアに入った。しかし、カナダに来て1年目は、ずっと、私と一緒にいたので日本語をよく話す様になった。そ

の頃、健太に聞いた。「デイケアに行ってたとき楽しかった？」健太の答えは、「ぼく、ママとお家にいたかった。」心が痛かった。今でも、思い出すと涙がでる。働いていたのは、お金のため？、いや、半分以上、自分のためだった気がする。デイケアに行かせていた頃は、新聞などで、「デイケアに行っていた子供のほうが、こういうところが良い」、などという記事を選んで読んだ気がする。はなが生まれてからは、ずっと家にいる。はなと健太、デイケアに行ったか行かないかで、何か違うのか、何も変わらないのか、私にはわからない。

大きくなった健太は、最近、「ママ、働いたら？」という。でもね、ママって、怖いから、雇ってもらえないみたい！？

渡辺 京子

大堀恭子と申します。日本語学校では、娘の賀葉がお世話になっております。日々の忙しさから、金曜日の夕方になるともうぐったりしてしまっ、めげそうになる時もありましたが、遠くから通っていらっしやる方達や、子供さんが日本語学校に通っていないにもかかわらず、学校に貢献されている方達の姿に励まされ、年中組から始めて、ここまで11年がんばってきました。英語圏で子供をバイリンガルに育てるのは、思ったより容易ではないことを身をもって感じておりますが、少なくとも娘に日本語を大事にしたいと思う気持ちが芽生えたことは喜ばしいことだと思います。日本語学校は、今年で卒業しようと思っておりますが、今後、それなりにまた本人にあった続け方ができないものか模索中です。本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。

大堀恭子

新しいホームページを作ってはどうか。
現在の学校案内サイトの記事は、2006年から更新されていません。これは、あまりにひどい！
他校のホームページを見ると、学校の大小にかかわらず活用されています。校長のあいさつにはじまり教育方針、入学希望の方々向け、在校生、保護者、事務手続き、ニュースレター、学校行事、写真、教師募集、最新記事などが網羅され活気を感じます。エドモントンの教育機関また地域の方々に補習校をもっとアピールできると思います。前向きな検討を願います

クインター久美子

娘が2歳になると同時にプレスクールに参加して以来、あっという間に補習校での10年が経ちました。エドモントンで産まれた娘は現在12歳。現地校では

中1ですが、補習校では小6のクラスで学習しています。特にはっきりした目標はありませんでしたが、とにかく正しい日本語が使えるようになってほしくて、産まれて間もない娘に絵本を読み聞かせていたことがよく思い出されます。こちらの大学でバイリンガル教育について学習した時、“One Parent, One Language”という教え方があるということ、カナダのフレンチイマージョン教育が成功している（問題もあります。。）ことを学んで、娘の言語習得への期待はかなり大きかったと思います。カナダ人の夫と、彼の家族の理解を得て、娘との会話は必ず日本語。毎年夏休みの3週間くらいは日本で過ごすようにもしましたし、日本の小学校での体験入学も短期間ではありましたが、毎年させました。日本語学校の宿題もほとんど間違いなくさせています。これだけやったら娘の日本語は年齢相応に発達しているかと言うと、残念ながらそうではありません。やはり、カナダで現地校に通いながら日本語を習得させるということは大変難しいことだと痛感しています。今、娘の日本語教育は曲がり角にやってきました。

長い間試行錯誤を繰り返しながら発展してきたエドモントン日本語補習校のプログラムはとても素晴らしいものだと思います。日本の国語教科書中心の毎週の授業・宿題に加えて、「漢字の達人」を考案してくださったり、課外活動も頻繁に運営してくださったり、本当に有難いです。週3時間の学校でありながら、文化指導や家庭での学習までも細かにサポートしてくださっています。こんな学校がエドモントンにあって何とラッキーなことでしょう。補習校に加えて、最近ではジャパントVやインターネットもありますし、本も簡単に手に入ります。ですから本人がやろうと思えばかなりの成果が期待できるはずなのですが、時間は限られています。娘の年齢が上がるにつれて様々な選択が強いられるようになりました。あの子にとって日本語学習とは何なのかを真剣に考える時がやってきたのだと思います。

色々悩んだ末、我が家ではとにかく「継続」することを目標としました。はっきり「このレベルまで」といった目標を今の娘に課すること自体逆効果かもしれない。教室で他の子どもさん達に迷惑がかからないよう、今まで通り補習校のポリシーを守って最低限度やらなければならないことはしっかりやる。できる時にはできることをする。とりあえずはこれでよしとして、親子共々努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

フェドロー美恵子

< 第2回保護者研修会の報告 >

2月5日（金）午後6時よりアルバータ教育省に出向中の永富あゆみ先生をお招きして”家庭内に潜む罫、消え行く日本語”と言うタイトルでセミナーをして

頂きました。永富先生より、11問の質問がありました。あてはつまた数が多い(レッドゾーン)保護者の方々がそのまま放置しておく大変な事になると言う事で先生からバイリンガルのプラス面、注意したい点などのお話がありました。1月29日の宿題と一緒に研修会の案内状を各家庭に送りましたが、不参加の方がとても多く、とても残念でした。参加できなかった保護者の方々にも、永富先生のスライドを見て頂きたいと思い、今月のニュースレターに添付してありますので、ご覧ください。

役員会



<カジノコーディネーター募集>

秋のカジノボフアンドレイジングを取り仕切るコーディネーターを募集しています。英語が出来る方。貴方の旦那様や奥様にも聞いてみてください。是非、守田まで応募下さい。

役員会

<来年度の図書係り募集>

来年度4月より図書係を勤めてくださる方を募集しています。3月から約一ヶ月間、クインターさんから図書の仕事について学んでいただいた後、4月からの任務となります。興味のある方はクインターさんまでお知らせください。

役員会

<ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金委員会に協力してくださるボランティアの方を募集しています。詳細は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

bruce@interbaun.com

<3月の当番/ Parent Duty shifts Mar>

3月5日 根本、ハンラハン (Hanrahan)

3月12日 星、堀

3月19日 ヴァン、ウォン(黒木)

3月26日 王、キャンベル

皆様のご協力でもつなく学校運営ができました。ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお祈りします。この当番表は来年度に引き継がれます。

<3月の行事のお知らせ>

3月も多くの行事があります。今からカレンダーに印をつけておきましょう。

3月5日 ボランティアデー

一年を通し多くの父兄の方々からご協力をいただきました。ありがとうございます。スタッフルームにてささやかではありますが、感謝の茶話会を行おうと思っております。皆さんご参加ください。

3月12日 弁論大会

今年は6年生と中学生が行います。その学年のご父兄の方はもちろんのこと、そうでない父兄の方々にも是非聞いていただきたいと思えます。

3月26日 終了式

一年の頑張りを表彰する表彰式も兼ねております。

役員会

<岩川華ちゃんについて>

2010年2月24日 金 紀子

昨年6月より闘病に入られた、補習校のお友達、岩川華ちゃんについて、補習校のみなさまにもぜひお伝えしたいことがあり、この場をお借りいたしました。華ちゃんは現在、回診と訪問看護のサービスを受け、ご自宅で療養されています。今後は、華ちゃんの体調を見ながら、学校に行きたい時には出かけ、ゆっくりしたい時はご自宅で、お出かけしたい時はお買い物や、お友達を訪ねたり、というように過ごされるということでした。

以下に、岩川先生と、ご主人のカムランさんからのメッセージをお伝えいたします。

～岩川先生より～

この度の私共の娘、華の病気に関しましては、早速にご懇切なるお見舞いをいただき厚く御礼申し上げます。お忙しい中をわざわざお見舞いにお越し頂き、またたくさん励ましのお言葉にカードと恐縮するばかりでございます。暖かいお言葉に励まされ、お蔭様にて六十日間の放射線治療を無事に終えて、去年の10月には日本へ旅行できるまで元気になりました。

残念ながら今年の1月29日のMRIで腫瘍の再発が判明いたしました。治療法がないとのことで娘のQOLを大切にしながら、自宅でホスピスをすることを主治医との相談結果決定いたしました。運動機能と言語に障害がみられるようになりましたが、まだ意識はしっかりしており、限られた時間をたくさんの方とお会いすることにより、充実できるのではないかと考えており

ます。もし我が家の近くへお寄りの際はぜひ遠慮せずお立ち寄りください。

お目にかかりご挨拶させて頂くのが当然ですが、書面にて失礼致します事を何卒お許し下さい。

末筆ながら皆様の益々のご健康をお祈り致しております。

先ずは娘の容態のご報告まで。

岩川友紀

～カムランさんより～

Hello Everyone,

This is Kamran, Malaika's dad. As you are already aware of Malaika's health conditions, I just wanted to give you all an update on her. Unfortunately, the news are not very good. But thanks to Almighty, she is still with us. Her brain tumor has increased in size and new spots/tumors are also visible in the lasted MRI. These new spots are located in the area of brain that controls the speech. We are having big difficulties understanding her any more and that causes lot of stress not only on us but on Malaika too. She tries her best to speak but whatever words comes out, they doesn't make any sense to us. This is a very difficult stage/time on us. Her entire left side, hand/leg/eye/jaw/mouth etc are pretty weak too. Doctors have already told us to spend quality time with her as there is no more medication or treatment left for her. She is not a condition to go to school because her saliva deeps on dripping as she don't have control on her mouth and it would be stressful for other kids too when they can't communicate with Malaika. We would love to send her to school because she really like it there but at the same time, we don't want other kids in school/classroom to get bothered her abnormal behavior. But on the other bright side, she is walking, eating, watching cartoons and sometimes smiling too. We are trying out best to keep her as happy as we can. She likes to go out shopping and playing with her friends. We would like to keep it that way and I would like to ask all of you if you can take some time and visit Malaika for an hour or so or, let us know and we can come to your place or meet at some place so that she can see her friends and have some fun. Or if you are nearby, please stop at our place at ANY TIME. We would love to have any one at any time, no formality at all. Although she won't be able to

speak, but you can feel the happiness in her smiles!!

You can always contact us by email or by calling us. If I am working and couldn't pick your call, then please leave me a message.

Kamran Shaheryar

Address: 7821 26 Ave, Edmonton, T6K 3S7

Kamran's Cell # : 780-266-1169

Yuki's Cell # : 780-298-1168

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当のフランキウイズ (yfrankiewicz@yahoo.com) までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子
編集 フランキウイズ